

Network Neutrality

コンテンツ事業者

- MS Update Traffic ◦ 昨夏のWindows10Updateより特に表面化
 - iOSのアップデートと重なるときも
- その他ソフトウェア等の更新など ◦ 安易に更新されるソフトウェア ◦ 頻繁に行われるiアプリ等の更新
 - 開発者には、その意識がない
- ストリーミング系事業者 ◦ YouTubeをはじめとするコンテンツ事業者
- IoT ◦ まだ日本のトラフィックは人間の活動時間に呼応しているが...
 - IoTの設計上、ネットワークのコストを考えていない
- コスト負担のあり方について議論する必要があるのではないか

Zero-Rating

- 海外状況 ◦ 南米の国々
 - チリ: 2014年FB電話を違法判決
 - ブラジル: Net Mundial開催などIGには積極的
 - アルゼンチン: ブラジル、チリ同様にIGには関心が高い
- インド ◦ 2015年秋、Zero-RatingのFB電話により一般のネットワークが10倍に
- アフリカ ◦ 2016年2月インド政府の電気通信規制庁 (Telecom Regulatory Authority、TRAI) 規則を改正して実質FB電話を排除
 - 中立性等に関する法律も少なくインフラ整備もないことからFB電話が普及し、「インターネットとはFBとの認識」
- 国内 ◦ 中立性に関する懇談会 (MIC) ◦ 10年経過し、インターネット環境が激変したインフラを支える技術革新がほとんど起きていない (DWDM以降の技術がない)
 - 毎年増え続けるトラフィックへの負担はそろそろ限界
- 2017年開始LINE電話 ◦ 今後、楽天電話やアマゾン電話へつながる可能性
- 公衆無線LANの問題 ◦ 特に自治体の運用する公衆無線LAN ◦ 電気通信事業者にならざるを得ない?

その他

- IX(P)との関わり ◦ 南米におけるIGへの関心の高さはこれが理由か?
- 国際電話の利用料金のような課金を要求してきたことも (WCITなど)